

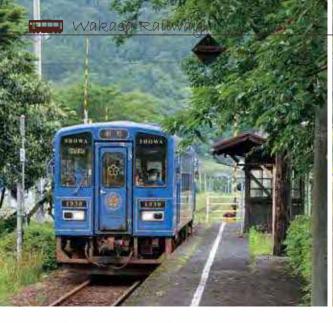
3期ぶり黒字決算

共交通

学和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響と燃油・物価高騰の 属りを受けながらの苦しい経営を余 儀なくされましたが、収益の主とな る旅客運輸収入は4441万円余り となり、前年と比べ306万円余り

通学費助成制度が浸透し、通学利用者が伸びたことが主な要因として考ええられていたツアーや個人旅行者がえられていたツアーや個人旅行者がっていたツアーや個人旅行者が出したことが主な要因として考えが、

令和4年7月に行った京都鉄道博 やが営業外収益の確保につながり が館での「隼ラッピング列車」の特別 展示や、若桜鉄道沿線各駅のイベン 展示や、若桜鉄道沿線各駅のイベン





輸費、 計額は3億2335万円余りでし これに対し、 修繕費などの営業費用等の合 人件費、業務費、 運

善され、当期損益で74万円余りの黒 策による支援、 り燃油価格や物価の高騰の影響を受 にありながらも3期ぶりに業績が改 の販売などを行った結果、 なって実施したイベントや、 層の経費削減に努めました。 の運行支援策等を活用しながら、 けながらも、 アを出しながら造成した体験型商品 収入を確保するため職員が一丸と 新型コロナや世界情勢の影響によ 国や県の新型コロナ対 八頭町・若桜町から コロナ禍 アイデ

輸送人員は大幅に増加

りさらに4%増となりました。 年より9万7198人増加しまし く上回る47万5170人となり、 加もあり、 ナの影響が残る中、 た。そのうち普通旅客は、新型コロ 輸送人員の総合計は、前年を大き 7万3656人と前年よ 個人旅行者の増 前

公共交通事業者の連携

ざまです。 支える重要なインフラの一 に変化し、 鉄道は、 鉄道の意義や役割は時代ととも 地域や路線によってさま 道路などと同様、 一つです 地域を

> と納税で体験型の返礼品を用意する 型観光商品の開発や八頭町のふるさ

のみならず、親子で参加できる体験

また、若桜鉄道では、

鉄道ファン

など、貴重な鉄道車両を活用したメ

ューの造成に力を注いでいます。

続いています。 急激な人口減少と過疎化に加え、物 はじめとする多くの鉄道事業者は、 価高騰等により経営が苦しい状況が 交通の再構築が叫ばれる中、 人口減少社会を迎え、 地域の公共 J R を

実施されています。 利便性向上のため、交通事業者の垣 根を越えて、さまざまな取り組みが このような中、利用者のさらなる



▶鳥取-郡家-若桜間で昨年実施した鉄道 とバスの共通パス実証実験チラシ

を目指して走り続けます。

割を果たし、若桜線開業100周年

用した通学が増え、 994人となりました。

34%増の35万7

成制度が浸透して公共交通機関を利

通学利用者は、

町や県の助





- がら構内を走行
- **切撮影会**:希望のシチュ

も力を入れ、「ウィズコロナ」「アフ らも安心安全な輸送機関としての役 鉄道の魅力を改めて発信し、これか ターコロナ」の社会を見据えながら、 運転士や技術職員の育成に

今後、